

# タイムシェアのアンケート結果

---

令和4年11月1日



株式会社 NHKテクノロジーズ



# 1 タイムシェア運用についてのアンケートについて

臨災局を同一周波数でタイムシェアリングにより運用する場合のエリア構築条件や運用手法等の調査検討を行うにあたり、臨災局の設備を保有する自治体等の11団体に対してアンケートを実施。(Web会議形式によるアンケートに関する説明会を開催。)

アンケート期間: 9月28日～10月12日

アンケート説明会: 10月3、4、6、7日

アンケートにご協力をいただいた自治体様: 那珂市、館林市、所沢市、戸田市、佐倉市、文京区、北区、練馬区、足立区、国分寺市、横浜市

| 番号        | 設問項目                  |
|-----------|-----------------------|
| <b>Q1</b> | <b>臨災局開設・運用に関して</b>   |
| Q1-1      | 臨災局開設時に最も優先する事項       |
| Q1-2      | 臨災局開設する際の近隣自治体の動向・連携  |
| Q1-3      | 臨災局開設する判断条件           |
| Q1-4      | 放送番組計画                |
| Q1-5      | 想定放送内容                |
| Q1-6      | 想定放送時間 (時間と時間変化)      |
| Q1-7      | 想定放送時間帯               |
| Q1-8      | 運用方法 (オペレータ、録音繰り返し再生) |
| <b>Q2</b> | <b>タイムシェアリングに関して</b>  |
| Q2-1      | タイムシェアについてのお考え        |

| 番号        | 設問項目                            |
|-----------|---------------------------------|
| Q2-2      | タイムシェアの時間を優先したい事項               |
| Q2-3      | タイムシェア調整対応について                  |
| Q2-4      | タイムシェア調整方法                      |
| Q2-5      | タイムシェアの時間帯変更                    |
| Q2-6      | タイムシェアの懸念事項 (自由記述)              |
| <b>Q3</b> | <b>住民 (受信者) への周知に関して</b>        |
| Q3-1      | 臨災局の運用に関する住民周知方法                |
| Q3-2      | 放送時間枠が変更する場合に有効となる周知方法          |
| Q3-3      | 複数自治体が受信されてしまう場合の対処、配慮          |
| Q3-4      | 住民周知で配慮すべき事項 (自由記述)             |
| <b>Q4</b> | <b>タイムシェアマニュアル作成に関して (自由記述)</b> |
| <b>Q5</b> | <b>その他全体を通してご意見 (自由記述)</b>      |

# 2 アンケート結果 (1)

## Q1-1. 臨災局開設時に最も優先する事項

臨災局を開設する際に、最も優先したい事項について順位をつけてお答えください。

| 順位 | 項目                  |
|----|---------------------|
|    | 開局・運用開始までのスピード感     |
|    | 放送カバーエリア            |
|    | 臨災局運用に関して住民・受信者への周知 |
|    | 音質                  |
|    | その他                 |

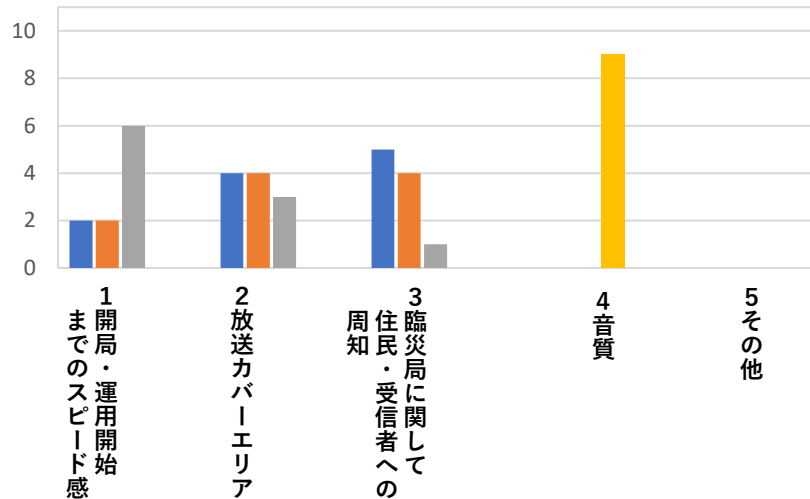
## Q1-2. 災局開設する際の近隣自治体の動向・連携

臨災局を開設する際に、近隣自治体との動向や連携について該当するものを○印で選択してください。(動向と連携でそれぞれひとつずつ)

| 区分  | 該当                       | 項目                      |
|-----|--------------------------|-------------------------|
| 動 向 | <input type="checkbox"/> | 近隣自治体の臨災局開設動向を参考にする     |
|     | <input type="checkbox"/> | 近隣自治体の臨災局開設動向はあまり意識しない  |
|     | <input type="checkbox"/> | 近隣自治体の臨災局開設動向は意識しない     |
| 連 携 | <input type="checkbox"/> | 近隣自治体に連絡をとり連携を考える       |
|     | <input type="checkbox"/> | 近隣自治体に連絡はとるが連携はあまり意識しない |
|     | <input type="checkbox"/> | 近隣自治体との連携は、その時の状況による    |

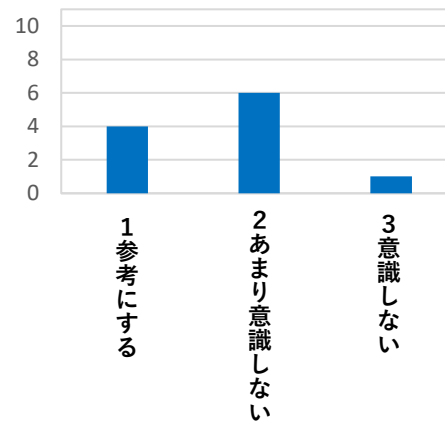
### Q1-1 優先事項

■順位1 ■順位2 ■順位3 ■順位4 ■順位5



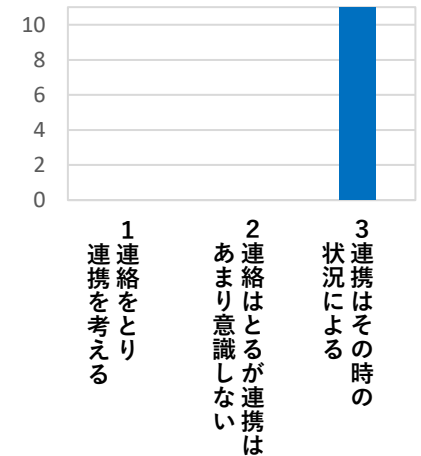
### Q1-2 動向 連携

近隣自治体の臨災局開設動向について



### Q1-2 動向 連携

近隣自治体との連携について



Q1-1 放送カバーエリア、受信者周知の項目が優先順位が高くみられた。音質は優先順位は低かった。  
 Q1-2 動向については、参考にするとあまり意識しないとの回答が占めていた。連携については、すべてが、その時の状況によるという回答であった。

# 3 アンケート結果（2）

## Q1-3. 臨災局開設する判断条件

臨災局開設する判断条件について、どの内容を想定されますか。  
該当するものを○印でひとつ選択してください。

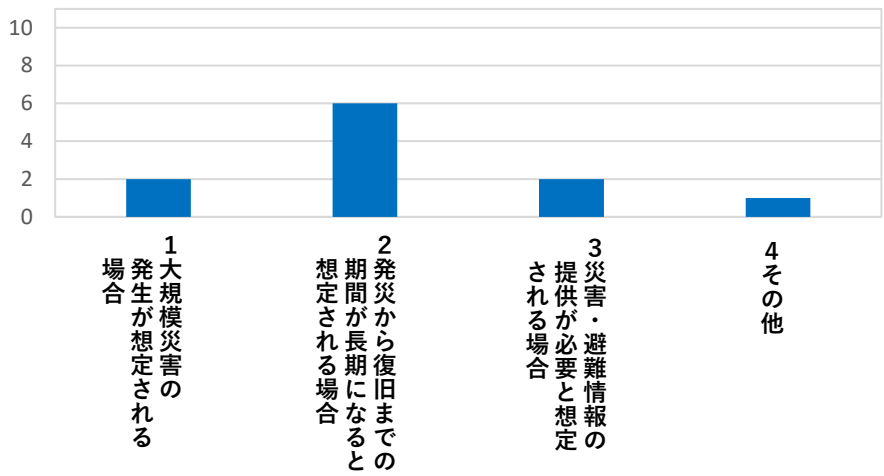
| 選択                    | 項目                        |
|-----------------------|---------------------------|
| <input type="radio"/> | 大規模災害の発生が想定される場合          |
| <input type="radio"/> | 発災から復旧までの期間が長期になると想定される場合 |
| <input type="radio"/> | 災害・避難情報の提供が必要と想定される場合     |
| <input type="radio"/> | その他                       |

## Q1-4. 放送番組計画

臨災局を開設する際に、放送番組計画はどのように考えられていますか。  
該当するものを○印でひとつ選択してください。

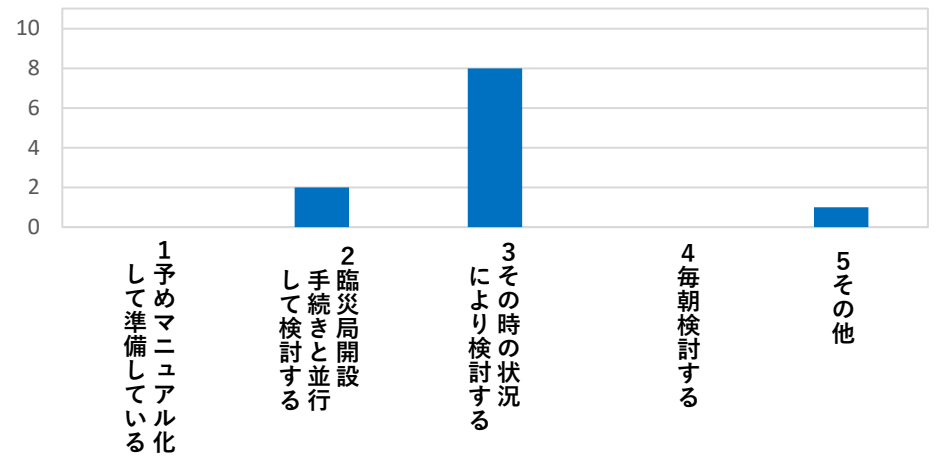
| 選択                    | 項目                        |
|-----------------------|---------------------------|
| <input type="radio"/> | 放送番組計画を予めマニュアル化して準備している   |
| <input type="radio"/> | 放送番組計画は、臨災局開設手続きと並行して検討する |
| <input type="radio"/> | 放送番組計画は、その時の状況により検討する     |
| <input type="radio"/> | 放送番組計画は、毎朝検討する            |
| <input type="radio"/> | その他                       |

Q1-3 判断条件



Q1-4 番組計画

放送番組計画について



Q1-3 「発災から復旧までの期間が長期になると想定される場合」という回答が多い傾向であった。  
Q1-4 放送番組計画は、「その時の状況により検討する」という回答が多い傾向であった。

# 4 アンケート結果（3）

## Q1-5. 想定放送内容

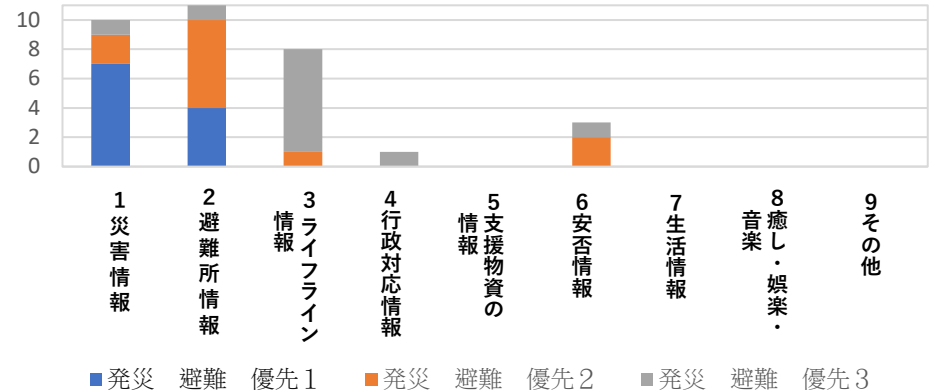
想定される放送内容について、発災時から復旧時までの経過を想定し、該当する選択事項のうち優先される上位3項を選択してください。

| 発災からの時期                      | 優先1 | 優先2 | 優先3 |
|------------------------------|-----|-----|-----|
| a. 発災期・避難期<br>(発災直後から72時間程度) |     |     |     |
| b. 避難期・復旧初期<br>(72時間から2週間程度) |     |     |     |
| c. 仮設住宅・避難帰宅期・復旧後期<br>(2週以降) |     |     |     |

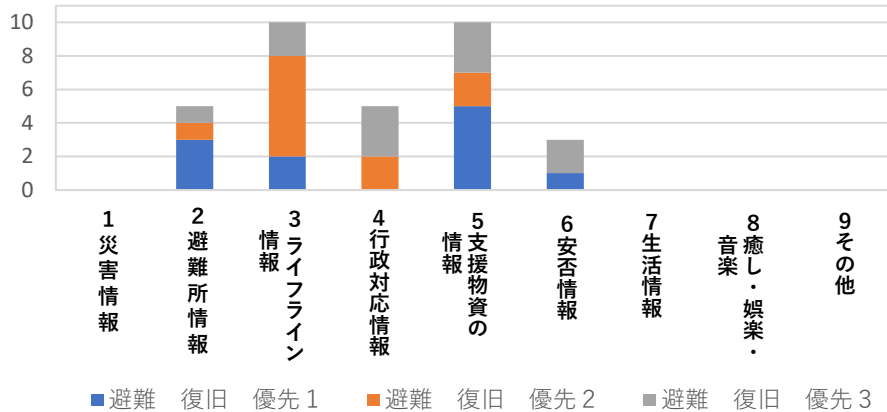
(選択事項)

- |             |            |             |
|-------------|------------|-------------|
| 1. 災害情報     | 4. 行政対応情報  | 7. 生活情報     |
| 2. 避難所情報    | 5. 支援物資の情報 | 8. 癒し・娯楽・音楽 |
| 3. ライフライン情報 | 6. 安否情報    | 9. その他      |

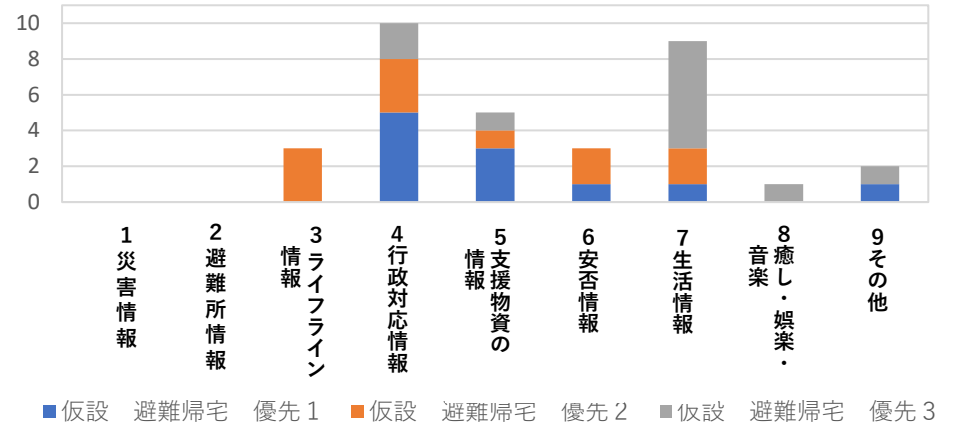
### Q1-5 放送内容（発災・避難期）



### Q1-5 放送内容（避難・復旧期）



### Q1-5 放送内容（仮設・避難帰宅期）



- a. 発災・避難期では「災害情報」、「避難所情報」の回答が多く見られた。
- b. 避難・復旧期では「ライフライン情報」、「支援物資の情報」の回答が多く見られた。
- c. 仮設住宅・避難帰宅期においては、「行政対応情報」、「生活情報」の回答が多く見られた。

# 5 アンケート結果（4）

## Q1-6. 想定放送時間（時間と時間変化）

必要な情報提供時間で、1回の放送番組単位（情報提供単位）の最短時間について、災害発生からの変化毎に下表回答欄にご記入ください。

（選択事項から選択回答）

| 発災からの時期                      | 回答 |
|------------------------------|----|
| a. 発災期・避難期<br>(発災直後から72時間程度) |    |
| b. 避難期・復旧初期<br>(72時間から2週間程度) |    |
| c. 仮設住宅・避難帰宅期・復旧後期<br>(2週以降) |    |

（選択事項）

- |          |          |       |
|----------|----------|-------|
| 1. 10分未満 | 4. 1時間以内 | 7. 不明 |
| 2. 10分程度 | 5. 2時間以上 |       |
| 3. 30分程度 | 6. 常時    |       |

## Q1-7. 想定放送時間帯

情報提供を行う放送時間帯で特に望ましい（希望する）ものを、災害発生からの変化毎に下表回答欄にご記入ください。

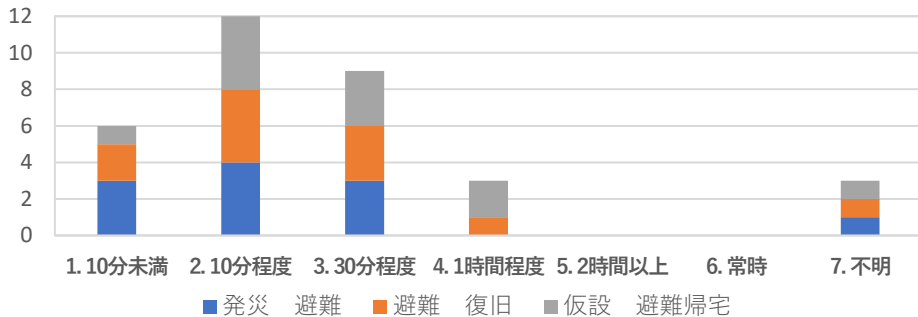
（選択事項から選択回答（複数選択可））

| 発災からの時期                      | 回答 |
|------------------------------|----|
| a. 発災期・避難期<br>(発災直後から72時間程度) |    |
| b. 避難期・復旧初期<br>(72時間から2週間程度) |    |
| c. 仮設住宅・避難帰宅期・復旧後期<br>(2週以降) |    |

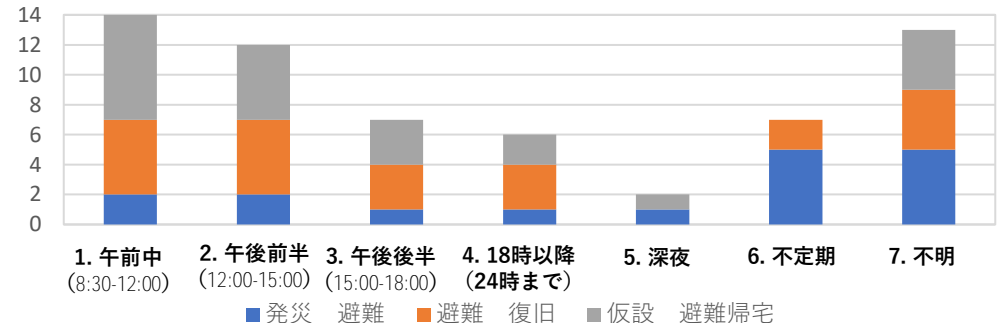
（選択事項）

- |                       |                  |       |
|-----------------------|------------------|-------|
| 1. 午前中 (8:30-12:00)   | 4. 18時以降 (24時まで) | 7. 不明 |
| 2. 午後前半 (12:00-15:00) | 5. 深夜            |       |
| 3. 午後後半 (15:00-18:00) | 6. 不定期           |       |

Q1-6 放送時間



Q1-7 放送時間帯



Q1-6 放送時間については、10分程度、30分程度が多い傾向であった。10分程度については、いずれの発災からの時期において多い傾向であった。

Q1-7 放送時間帯については、発災・避難期では不定期・不明が多いケースであった。b.避難期・復旧期およびc 仮設住宅・避難帰宅期では、午前中、午後前半の回答が多く見られた。

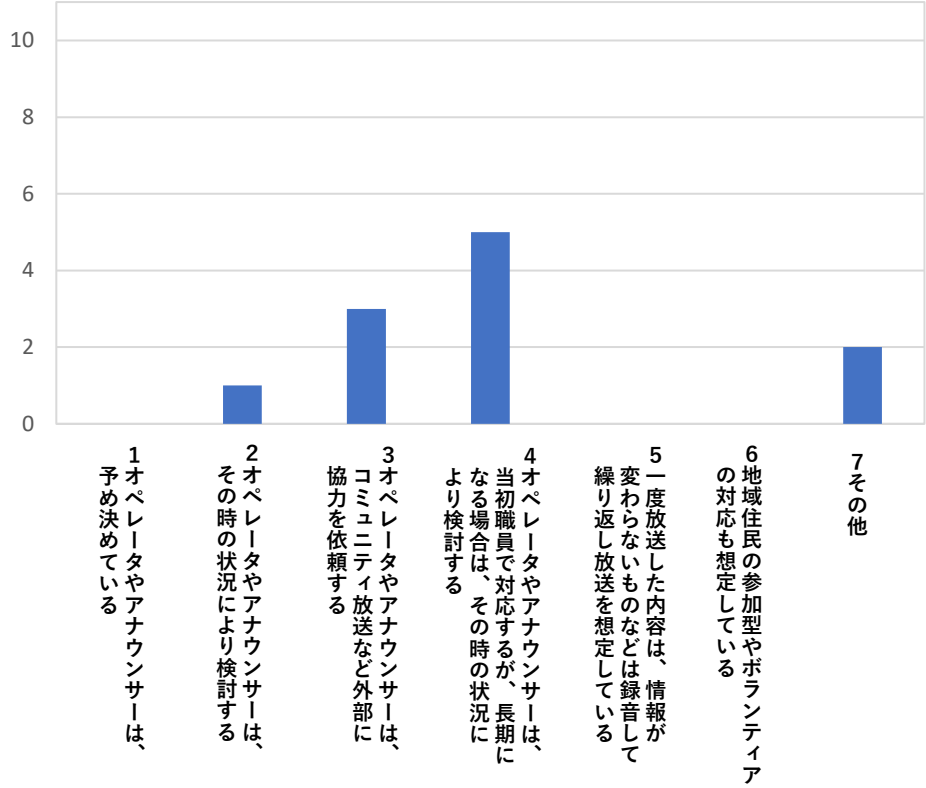
# 6 アンケート結果（5）

Q1-8 運用方法

## Q1-8. 運用方法（オペレータ、録音繰り返し再生）

臨災局の運用方法について、想定（検討）されているもので該当するものを○印で ひとつ選択してください。

| 選択 | 項目  |
|----|---|
|    | オペレータやアナウンサーは、予め決めている                           |
|    | オペレータやアナウンサーは、その時の状況により検討する                     |
|    | オペレータやアナウンサーは、コミュニティ放送など外部に協力を依頼する              |
|    | オペレータやアナウンサーは、当初職員で対応するが、長期になる場合は、その時の状況により検討する |
|    | 一度放送した内容は、情報が変わらないものなどは録音して繰り返し放送を想定している        |
|    | 地域住民の参加型やボランティアの対応も想定している                       |
|    | その他   |



運用方法については、「オペレータやアナウンサーは、当初職員で対応するが、長期になる場合は、その時の状況により検討する」および「オペレータやアナウンサーは、コミュニティ放送など外部に協力を依頼する」回答が多い傾向にあった。

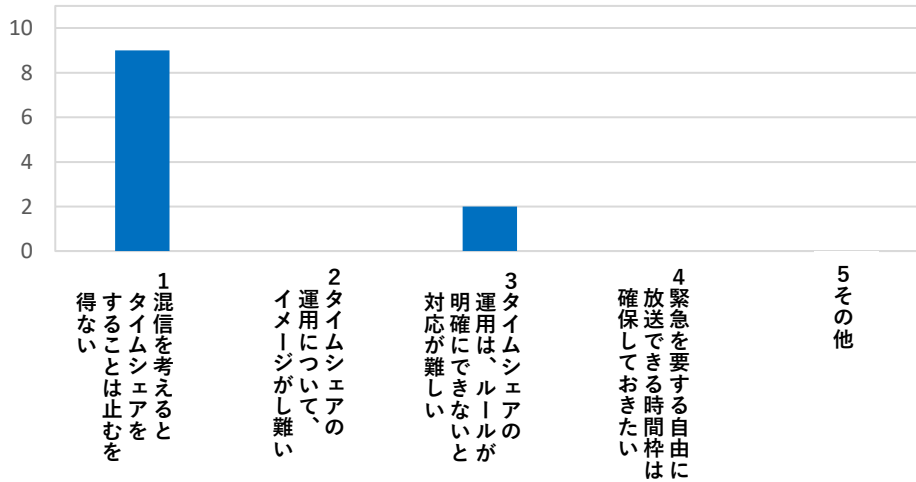
# 7 アンケート結果 (6)

## Q2-1. タイムシェアについてのお考え

多くの自治体が臨災局を同じ周波数で同時運用した場合、混信が発生する場合も想定されますが、これを回避する方法として放送する時間電波を放射する時間)をタイムシェアリングして運用する方法があります。該当するものを○印でひとつ選択してください。

| 選択 | 項目                            |
|----|-------------------------------|
|    | 混信を考えるとタイムシェアをすることは止むを得ない     |
|    | タイムシェアの運用について、イメージがし難い        |
|    | タイムシェアの運用は、ルールが明確にできないと対応が難しい |
|    | 緊急を要する自由に放送できる時間枠は確保しておきたい    |
|    | その他                           |

Q2-1 タイムシェア考え

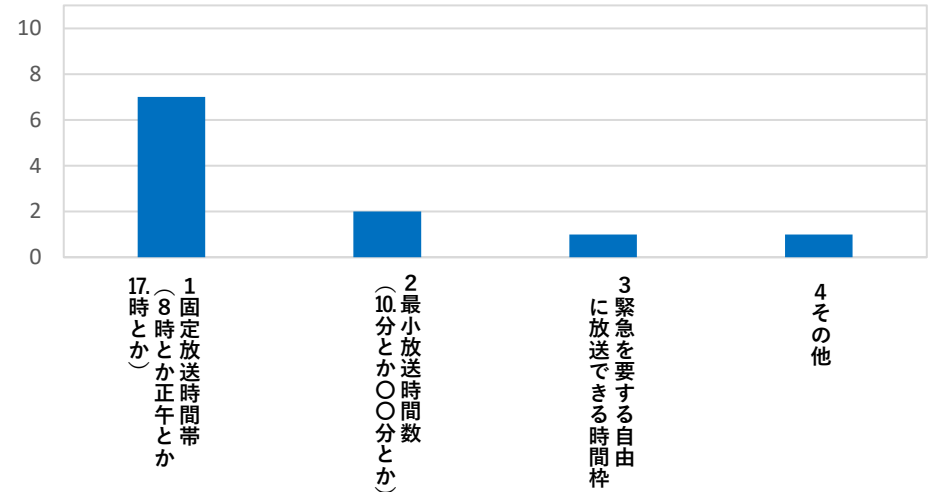


## Q2-2 タイムシェアの時間を優先したい事項

止むを得ずタイムシェアの運用が必要になる場合、優先したい事項について、該当するものを○印でひとつ選択してください。

| 選択 | 項目                      |
|----|-------------------------|
|    | 固定放送時間帯 (8時とか正午とか17時とか) |
|    | 最小放送時間数 (10分とか〇〇分とか)    |
|    | 緊急を要する自由に放送できる時間枠       |
|    | その他                     |

Q2-2 タイムシェア時間優先事項



Q2-1 タイムシェアの考え方については、「混信を考えるとタイムシェアをすることは止むを得ない」の回答が多い傾向にあった。  
 Q2-2 優先事項については、「固定放送時間帯」との回答が多い傾向にあった。



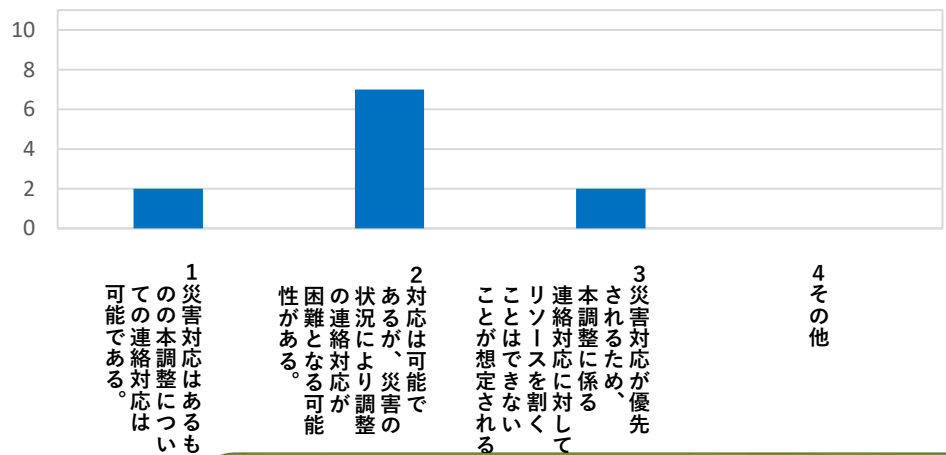
# 8 アンケート結果 (7)

## Q2-3. タイムシェア調整対応について

タイムシェアを行う際に、運用時間等について関係者と調整の連絡を行うこととなります。  
タイムシェアの調整対応に関して最も近いお考えを○印でひとつ選択してください。

| 選択 | 項目  |
|----|---|
|    | 災害対応はあるものの本調整についての連絡対応は可能である。                       |
|    | 対応は可能であるが、災害の状況により調整の連絡対応が困難となる可能性がある。              |
|    | 災害対応が優先されるため、本調整に係る連絡対応に対して、リソースを割くことはできないことが想定される。 |
|    | その他   |

Q2-3 運用調整について

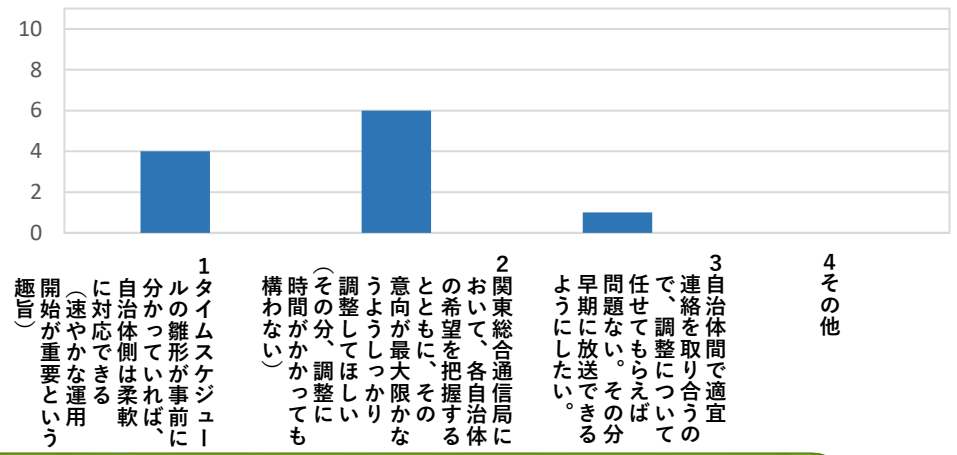


## Q2-4. タイムシェア調整方法

タイムシェアの調整方法について最も近いお考えを○印でひとつ選択してください。

| 選択 | 項目  |
|----|---|
|    | タイムスケジュールの雛形が事前に分かっているならば、自治体側は柔軟に対応できる（速やかな運用開始が重要という趣旨）                 |
|    | 関東総合通信局において、各自治体の希望を把握するとともに、その意向が最大限かなうようしっかり調整してほしい（その分、調整に時間がかかって構わない） |
|    | 自治体間で適宜連絡を取り合うので、調整について任せてもらえば問題ない。その分早期に放送できるようにしたい。                     |
|    | その他   |

Q2-4 調整方法



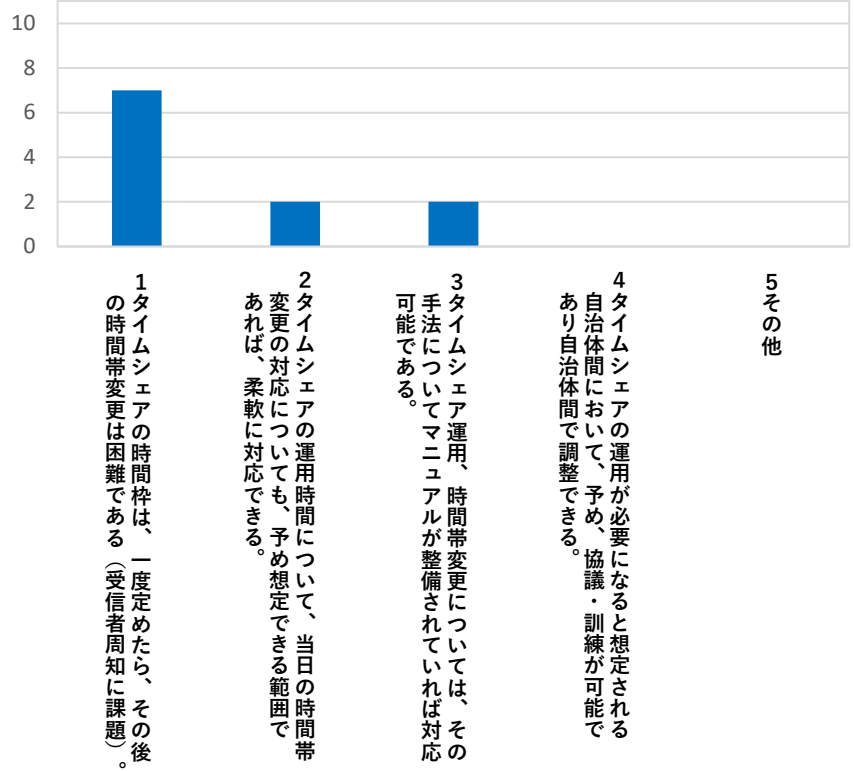
Q2-3 調整対応については、「対応は可能であるが、災害の状況により調整の連絡対応が困難となる可能性がある」の回答が多い傾向にあった。  
Q2-2 調整方法については、「タイムシェアスケジュールひな形に対応できる」という回答と「関東総合通信局における調整」という回答が大半を占めている。

## Q2-5 時間帯変更

### Q2-5. タイムシェアの時間帯変更

臨災局の開設は、災害の規模等により開設・運用数が増える場合が想定されます。その場合に運用時間帯について、最も近いお考えを○印でひとつ選択してください。

| 選択 | 項目   |
|----|--|
|    | タイムシェアの時間枠は、一度定めたら、その後の時間帯変更は困難である（受信者周知に課題）。            |
|    | タイムシェアの運用時間について、当日の時間帯変更の対応についても、予め想定できる範囲であれば、柔軟に対応できる。 |
|    | タイムシェア運用、時間帯変更については、その手法についてマニュアルが整備されていれば対応可能である。       |
|    | タイムシェアの運用が必要になると想定される自治体間において、予め、協議・訓練が可能であり自治体間で調整できる。  |
|    | その他  |



時間帯変更については、「タイムシェアの時間枠は、一度定めたら、その後の時間帯変更は困難である（受信者周知に課題）。」の回答が多い傾向にあった。

# 10 アンケート結果 (9)

## Q2-6. タイムシェアの懸念事項

タイムシェアの運用が必要になる場合の懸念事項があれば、ご意見をお願いします。(自由記述)

### ご意見(概要)

**(放送時間の考え方に関する意見)**

奇数時0分から20分まではA区、30分から50分はB区  
偶数時0分から20分まではC区、30分から50分はD区

**(タイムシェアの運用や統制に関する懸念)**

どのようなイメージになるのかわからない

**(連絡調整の実施に関する懸念)**

被害の状況や通信インフラの状況が不明な中での対応について厳しいことが想定

**(繰り返し放送や放送時間に関する意見)**

1日2, 3回程度の放送。繰り返し放送が想定される。

**(放送時間、運用調整に関する要望)**

タイムシェアは最低限にし、放送時間が確保できるようにしたい。調整について総務省における取り仕切りを希望。

**(タイムシェア運用による緊急放送の対応に関する懸念)**

タイムシェアする自治体が多いと、放送時間、回数が減りリスナー離れが懸念される。

**(マニュアルに向けた要望)**

- 放送開始時間や時間変更など受信者への周知に関する懸念統一的なマニュアルへの要望  
周知方法が確立されていればタイムシェア運用は可能とかがえる。統一的なマニュアルがあればスムーズな運用が可能と考える。

# 11 アンケート結果（10）

## Q3-1. 臨災局の運用に関する住民周知方法

臨災局の運用に関する住民周知方法について、想定されているもので該当するものを○印でひとつ選択してください。

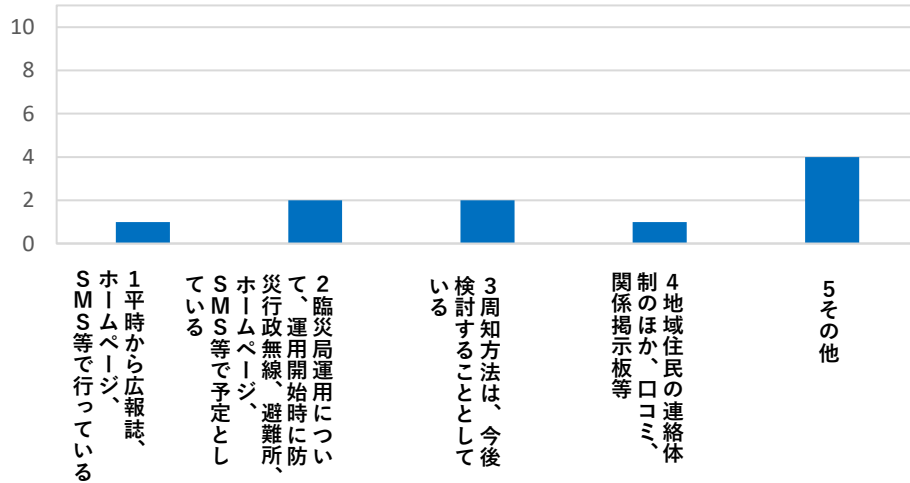
| 選択 | 項目   |
|----|--|
|    | 平時から広報誌、ホームページ、SMS等で行っている                      |
|    | 臨災局運用について、運用開始時に防災行政無線、避難所、ホームページ、SMS等で予定としている |
|    | 周知方法は、今後検討することとしている                            |
|    | 地域住民の連絡体制のほか、口コミ、関係掲示板等                        |
|    | その他  |

## Q3-2. 放送時間枠が変更する場合に有効となる周知方法

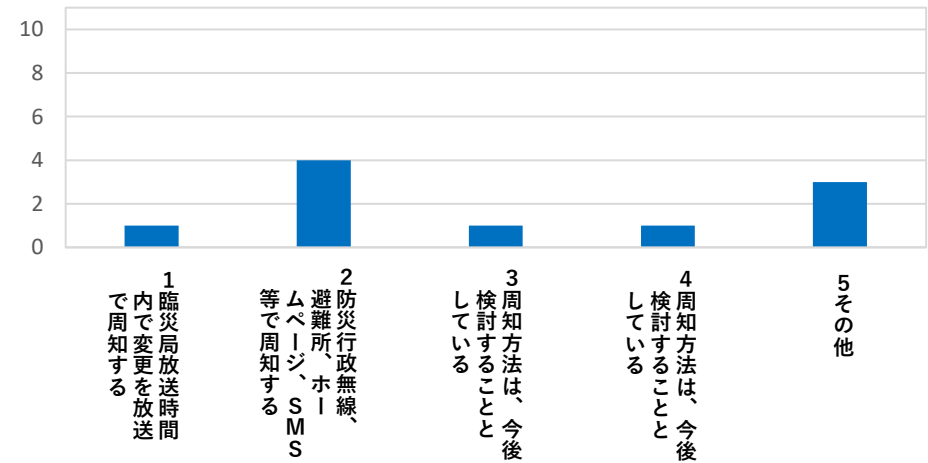
臨災局の運用時間変更に関する住民周知方法について、想定されているもので該当するものを○印でひとつ選択してください。

| 選択 | 項目                          |
|----|-----------------------------|
|    | 臨災局放送時間内で変更を放送で周知する         |
|    | 防災行政無線、避難所、ホームページ、SMS等で周知する |
|    | 周知方法は、今後検討することとしている         |
|    | 地域住民の連絡体制のほか、口コミ、関係掲示板等     |
|    | その他                         |

Q3-1 周知の方法



Q3-2 時間帯変更の周知方法



Q3-1 周知方法については、その他以外の選択回答は偏った傾向はなく、選択回答によらずその他の項目での回答が多く見られた。

Q3-2 変更に伴う周知については、「防災行政無線、避難所、ホームページ、SMS等で周知する」という方法と選択回答によらないその他の項目での回答が多く見られた。

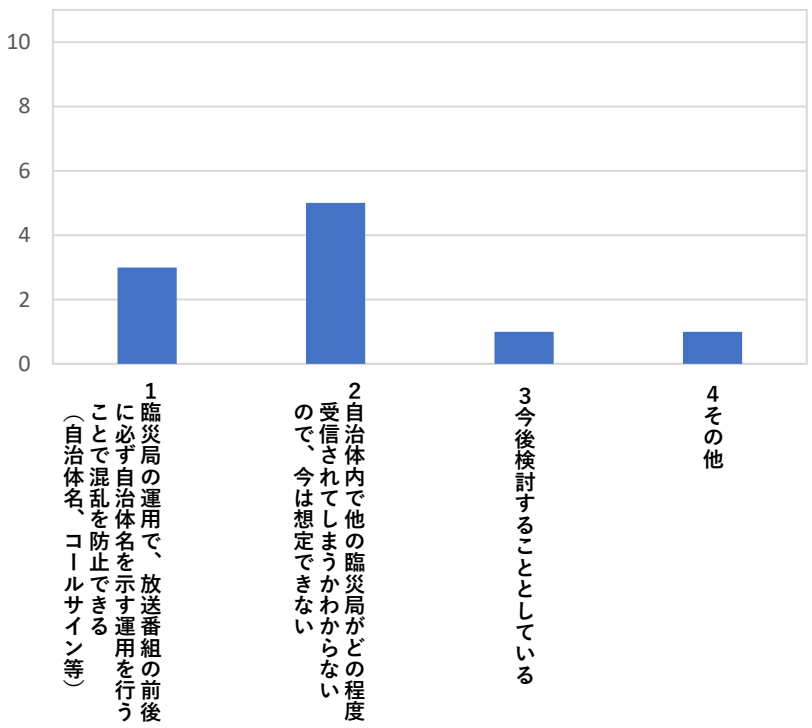
# 12 アンケート結果（11）

## Q3-3. 複数自治体が受信されてしまう場合の対処、配慮

他の複数自治体からの臨災局が受信される場合の住民周知方法について、想定されているもので該当するものを○印でひとつ選択してください

| 選択 | 項目  |
|----|---|
|    | 臨災局の運用で、放送番組の前後に必ず自治体名を示す運用を行うことで混乱を防止できる（自治体名、コールサイン等） |
|    | 自治体内で他の臨災局がどの程度受信されてしまうかわからないので、今は想定できない                |
|    | 今後検討することとしている   |
|    | その他   |

## Q3-3 複数自治体の受信について



複数自治体が受信されるケースに関しては、「自治体内で他の臨災局がどの程度受信されてしまうかわからないので、今は想定できない」という回答が最も多く見られた。

# 13 アンケート結果（12）

## Q3-4. 住民周知で配慮すべき事項

臨災局運用に関する住民周知で配慮すべき事項について、お気づきのことがあればご意見をお願いします。（自由記述）

### ご意見（概要）

**（手続きについての要望）**

住民周知にあたって、申請書類の簡略化、主体者についての規定に関する要望

**（放送時間の変更になる事に関する懸念）**

定時放送が望ましい、頻繁に時間に変更されると運用が難しくなる。

**（ご意見）**

臨災局の認知を深めることが必要

**（ご意見）**

臨災局への住民周知についてマニュアルの活用も行いたい旨の意見

**（ご意見）**

放大FM跡地の周波数の割り当ての限定についてのご意見  
タイムシェア実施にあたっての懸念事項についてのご意見

**（住民周知に関する要望）**

自治体内での周知に加えて、総務省側からの周知の要望  
運用の内容についての早期の方針決定のお願い

**（ご意見、高齢者対応への懸念）**

ネットを経由した周知における、高齢者世帯への周知が困難となる懸念。放送時間の変更にともなう周知の速さへの対応の必要性。

# 14 アンケート結果（13）

## Q4-1. タイムシェアのマニュアル作成に関して要望する事項

今回、タイムシェアのマニュアル作成を計画しており、運用調整方法やタイムテーブル（モデル案）などを掲載することを予定していますが、その他マニュアルに記載してほしい事項などご要望があれば記載をお願いします。（自由記述）

### 要望事項(概要)

|                             |
|-----------------------------|
| タイムテーブル作成に関するコメント           |
| 住民参加の運用としたケースについての付記についての要望 |
| 臨災局そのものについての案内の掲載           |
| 住民周知の事例・平常時の運用の紹介           |
| 災害時の運用調整（タイムテーブル等）への要望      |
| マニュアルの定期更新のお願い              |

# 15 アンケート結果（14）

Q 5.その他全体を通してご意見をお願いします。（自由記述）

## ご意見（概要）

### （要望）

自治体間で干渉するのか影響度はどうなのかについて具体的な情報提供をお願いしたい。

### （アンケートご質問に関するご意見）

- ・カバーエリアについて平時や開設前にクリアしておく事項
- ・連携に関する、近隣自治体が臨災局を開設するケースと関与しないケースもあるのでそれによって連携する部分が変わる
- ・放送番組計画については、今回の拡大FM跡地利用が軌道にのることでマニュアル化を進められる。

### （ご意見）

臨災局に関しては、今後の動向を踏まえ検討する（ご意見）

### （ご意見）

自治体間の調整となる場合には、連絡先が不明となり混乱する。また、対応が後手と想定される。